

看護いばらき

No.101

2013年5月27日



CONTENTS

- ◆ 平成24年度茨城県看護研究学会 …… P2～3
- ◆ 私の職場 …………… P7
- ◆ 平成24年度茨城県医療安全研修会 …… P4
- ◆ 輝け！ナースマン …………… P8～9
- ◆ ザ・シリーズ ～地域連携～ …… P5
- ◆ 協会からのお知らせ …………… P10～12
- ◆ そよかぜ 私の専門 ～認定看護師～ … P6

平成24年度 茨城県看護研究学会

看護の力を信じて

— 感じ・考え・行動する —

■と き：平成25年2月13日(水)

■ところ：茨城県立県民文化センター



開会のあいさつ

会長 村田 昌子

看護師一人ひとりの患者さんに対する思いやり感じ方は千差万別です。病院という一つの施設をみても外来や病棟で忙しく動きまわる中で、患者さんの思いにどのように寄り添えばいいのか、看護職としてどのような判断をするのか、どう行動するか非常に難しい決断です。この機会に、是非原点に戻り考えてみる機会になってほしいという村田会長のあいさつで開催されました。

特別
講演

『ポライトネス・ストラテジーによる 患者とのコミュニケーション』

— 対人関係を円滑にするための
社会的言語行動 —

講師：筑波大学附属病院 水戸地域医療教育センター

総合病院水戸協同病院 徳田 安春氏



医療コミュニケーションの適正化に役立てるための、ポライトネス理論を応用した医療ポライトネス・ストラテジーを紹介して頂きました。

ポライトネス理論は、相手のface(欲求・望み)を察知し、それを満たすコミュニケーション方略で応じることによって、円滑な情報共有と良好な関係構築を図る対人コミュニケーション理論です。その理論を応用する医療ポライトネス・ストラテジーは、患者の心の動きに気を配り、faceを読み取り、それを満たすように働きかける相互作用のコミュニケーション方略であり医療コミュニケーションの適正化に役立ちます。相手に配慮した言語行動の大切さを痛感した講演でした。

回演発表(小ホール・22演題)

- 第1群 手術看護・集中ケア
- 第2群 退院支援・日常生活支援
- 第3群 看護師の意識・思い
- 第4群 接遇、ワークライフバランス、インシデント予防
- 第5群 ブラッシュアップ研修「看護研究(実践編)」の発表



受付の様子

示説発表(集会室2号・集会室3号)

- 第6群 小児看護、感染対策
- 第7群 手術看護
- 第8群 日常生活支援、感染対策
- 第9群 ブラッシュアップ研修「看護研究(実践編)」の発表



示説発表の様子

学会参加の動機

来年度の看護研究の参考にし、パワーポイントの作り方、データ化するための統計学を学びたかった。

ブラッシュアップ研修

- * 看護研究と業務改善の違いを理解し研究に取り組むことができた。
- * 研修中、Key Wordのヒント、ホームページ、図書室の利用について指導して頂いた。
- * 事例検討の方法、文章構成について指導を頂いた。
- * 自分の思いを文章化することができなかったが、指導を受け文章化することができた。
- * 自分の漠然とした思い・疑問についての的確に指導を受け、研究の方向性を見出せた。病院で共同研究者を集いまとめにつなげることができた。
- * 一年を通して指導を受け、スムーズにまとめることができた。
- * 院内で研究発表したものを指導にて構成しなおし、発表に至った。
- * 分析方法・言葉の使い方・結果についての表現方法について理解しまとめることができた。
- * 研究になるか疑問だったが、現状の問題点を明確にすることで仮説の立証につながり、研究をすすめることができてよかった。
- * 研究することで、病棟スタッフの意識変化がおき、良いケアにつながった。

発表者の声(ブラッシュアップ研修受講者)

茨城県看護協会主催のブラッシュアップ教育の中の「看護研究(実践編)」は、看護研究への知識を深め、看護研究を実践し、茨城県看護研究学会での発表につなげることを目的とした研修です。

平成24年度茨城県医療安全研修会

■ と き：平成25年1月30日(水)

■ ところ：茨城県立県民文化センター 大ホール

平成25年1月30日(水)茨城県立県民文化センター大ホールにおいて、医師・薬剤師・看護師など多職種の医療従事者約500名参加のもと開催されました。

本研修は、茨城県との共催により医療従事者の資質向上を図り、医療安全の向上に資することを目的に実施されております。

まずはじめに、筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター総合病院水戸協同病院の徳田安春教授より、「薬の副作用の診断と予防対策」というテーマで講演がありました。幾つかのケースを用い、副作用の原因薬剤について解説があり、とても参考になる講演でした。



特別
講演

『当院での多剤耐性アシストバクター アウトブレイクへの対応』

国立病院機構 水戸医療センター

感染管理認定看護師 岩島 知子 先生



多剤耐性アシストバクターアウトブレイクへの対応について、院内職員教育・環境清掃面の整備・感染予防策遵守状況のモニター・院内ラウンド・院内情報共有等感染拡大防止に向けて広範囲に取り組みられた体験を分かりやすくご講演いただいた。「アウトブレイクを起こさないために日頃から一処置ごとの手指の衛生と、全ての患者に標準予防対策が確実に実践されるための継続教育が大事である」と話された。



『多剤耐性菌のアウトブレイクにみる 日常の院内感染対策の重要性』

山形大学医学部附属病院 検査部・感染制御部

部長 森兼 啓太 先生

この講演のなかで、森兼先生は実際に多剤耐性菌が検出され院内で集団発生した事例をいくつか述べられた。それぞれの事例では、どのような状況の中で感染の拡大がおこり、どのような対策を行ってきたのかなどの実際の取り組みについて聴くことができた。

先生は普段からスタッフ全員が正しい知識をもち適切な標準予防策をとっていること、また抗菌薬の適切な使用により耐性化させないことが大切であると述べていた。



受付の様子



会場の様子

参加者の声

- * 森兼先生・岩島先生の講演に興味があり現状がどのように動いたのか知りたかったので、自己研鑽できた。(看護師)
- * 上司に勧められて参加したが、基本的予防策が大事であると実感した。(看護師)
- * 早めに予防対策をとることが大切であると感じた。(看護師)

ザ・シリーズ ～地域連携～



目指せ！日本一の老健施設！

介護老人保健施設「健田」^{たけだ}海老沢 佳代

介護老人保健施設「健田」は、平成10年3月に開設し、90名の入所と40名の通所リハビリテーションサービスを提供しています。当施設が目指しているものは、「日本一楽しい職場にする」、「利用者が楽しめる施設を作りたい」というものです。

利用者中心のサービスを提供したいと考え、看護介護・リハビリスタッフ・管理栄養士・介護支援専門員・支援相談員など全員で、それぞれの職種が協力し合って、色々な発想をおりまぜながら、楽しい企画を取り入れています。昨年度は、「お花見」や「ランチバイキング」、「夏祭り」、「コンサート鑑賞」などを実施しました。利用者やご家族の反応も想像以上でした。それを企画・運営する職員も、毎回の感動を楽しんでおります。また、在宅復帰を目指して、家族との



かかわりを大切にしています。在宅復帰に際しては必要なサポートが受けられるよう、居宅・在相・訪看が併設になっているため、介護支援専門員・訪問看護師との連携も充実しています。さらに、在宅復帰が困難な方にも、施設での生活を楽しめるように、家族とのふれあいをサポートするようなかかわりに力を入れています。「健田」が地域になくってはならない、日本一の施設になることを目指して、これからも頑張っまいります。

そよかぜ

私の専門 ～認定看護師～

総合病院土浦協同病院
糖尿病看護認定看護師 日本糖尿病療養指導士 内田 みさ子



「患者さまの笑顔を守るために」

私は2006年より糖尿病看護認定看護師として院内に留まらず、生活習慣病予防および、糖尿病の一次予防として地域の皆様を対象に市民公開講座や土浦保健センター主催の足の健康講座の講師、また、医療スタッフを対象に看護協会や土浦医師会等からの依頼を受け糖尿病患者に対する療養支援に必要な専門的知識の教育講義など行っております。さらに最新の知識と技術



ベルリン赤十字中央クリニック

を高めるために3月に自己研鑽として海外研修を受けて参りましたので報告いたします。

研修生は全員、ORAシュパンゲ（国際特許を有する巻爪ワイヤーワーク）の国際ライセンスの取得者でした。ベルリンの日赤病院で行われている「糖尿病足病変における複数専門領域にまたがる連携医療」の実際についての見学と、ポドローゲ（メディカルフットケアを行うドイツの国家資格取得者）が開業しているフットケア診療所で患者さんへの実際のケアを実習し、改めて勉強になりました。今後も、糖尿病の発症予防および重症化予防を図り、患者様のQOLの質の低下予防を目指すことで、糖尿病と共に生活する皆様が笑顔で過ごせますように資格に甘んじることなく自己研鑽を積んでいきたいと思っております。



患者を協同診療するポドローゲと医師



フットケア診療所での実習



住民の心に寄り添える保健活動を目指して

境町役場健康推進課 保健師 小川 由香

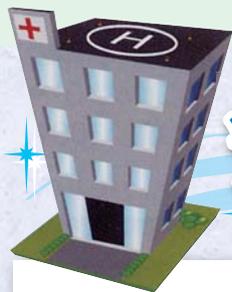
境町は、県西南部に位置し、県都水戸まで約70kmの距離に位置しています。

町の看護職は、保健師6人と看護師3人がおり、健康推進課と福祉課に分散して配置されています。

健康推進課には、保健師・看護師のほか、管理栄養士・栄養士・事務職がおり、合わせて11名の職員で町の保健事業を担っています。みな明るいスタッフで、チームワーク抜群の働きやすい職場です。年に1回は課内旅行にも出かけ、職場内でのコミュニケーションを深めています。

境町は、人口25,000人ほどの小さな町です。「住民の心に寄り添う」ことをモットーに、日々の仕事に励んでいます。「町に住む人の健康を守る」ことが、私たちの仕事です。「ゆりかごから墓場まで」という言葉がありますが、赤ちゃんから老人まで幅広く係わることのできる働き甲斐のある職場です。一人でも多くの人に「境町に住んでいてよかった」と思ってもらえる町づくりを目指して頑張っています。保健師を目指すみなさん、私たちと一緒に働いてみませんか！





輝けナースマン



東日本大震災後に思うこと

公益社団法人地域医療新興協会 石岡第一病院 大久保 学

東日本大震災から早2年が経ちました。私は3月18日から22日までの間、宮城県女川町の病院に災害派遣として微力ながら参加しました。当院の混乱も収まらない中、看護部長から「誰か女川に行ってくれるスタッフはいないかしら？」と一声。少し躊躇して私は思わず「行きます！」と返答していました。一生に一度あるかないかの災害で、自分に何ができるのかを考えもせずに。しかし、看護師になったからには、少しでも自分が役に立つのなら、今行かないと一生後悔するかもしれないと思い決めました。

現地に到着すると、報道で見ていた光景が眼前にあり、その事実を受け入れる心の準備はしていたつもりでしたが、あまりの光景に全身が震えました。同行した医師、薬剤師、看護師と救護所を開設したり、被災者の健康状態をチェックしたり、救援物資を配布したりとその時自分に出来得る活動をしてきたつもりです。

最近ではTVなどでも復興の様子や頑張っている人々の姿を目にする機会も増え、「ああ、自分でも行って良かったんだ」と思えるようになりました。今後、あのような災害が起こらないことを祈りつつ、ナースマンには災害などの現場にどんどん参加して欲しいと願っています。



私の進むべき道

医療法人社団協栄会 大久保病院 鯉 淵 一 雄

私は介護福祉士の資格を持っていましたが、医療の分野で患者様と深く関わりたいと考え、看護の道へ進み、去年看護師となりました。

医療の現場は常に緊迫感があります。私はその中でも楽しく看護を提供したいので、常に優しい声掛け、笑顔でいることを第一に心がけ仕事をしています。患者様から返ってくる「ありがとう」の言葉は私にとってプライスレスです。

そして現在、私は新病院プロジェクトに参加しています。新病院プロジェクトでは、今後、新しくなる病院のため患者様の病室はもちろんのこと、チーム医療としてのスタッフの動きも考え建築士の方と活発な話し合いをしています。地域密着型の久保病院として、患者様に安心して頂くためにスタッフ一丸となって、新たな久保病院作りに取り組んでいます。





見よナースマンカ（りょく）

公益財団法人鹿島病院 長 岡 幸 法

高校卒業後准看護師資格、看護師資格取得後、現在の病棟で四年目を迎えました。

46床の内、過半数が気管切開で呼吸器装着し、自力体動は勿論、話す事さえできません。

そんな中、患者さん達は訪れる家族との面会時の笑顔に支えられ、他に何かないかと、呼吸器つけてシャワー浴、風景を見る。家族と協力し外出した事もありました。患者さん

は、数年ぶりの我が家をどんな思いで見られたでしょうか。この秋、新棟が完成します。家族の宿泊、窓を出来るだけ低く設計し、広々な空、海、四季折々の季節も楽しんで頂けそうです。こんな場面で腕力？男らしさを発揮

僕達ナースマンもケアの他に力で役に立ちそうです。家族と共にこれからもチーム医療に、そして、自分自身も呼吸療法認定士としても頑張っていくつもりです。



継続は力なり

北茨城市立総合病院 華 山 修 一

「こんにちは」当病院に就職して3年目になるうとしています。現在は手術室兼外来勤務を行う毎日ですが、日々諸先輩からの指導を受けながら勉強する毎日です。その甲斐あってか、最近は一人で業務を任される事が増えてきています。しかし不安なことや分からないことも多いため、指導は勿論、自分で考えさせてくれる様にアドバイスや、自分で解決できるよう導いてくれるため、自分にとっては、良い環境下と経験の場となっています。初めは女性の多い職場に行くことに不安はありましたが、患者さんにとっては、男女関係がなく一人の看護師として接する部分が大いなので、いつも「笑顔」を念頭において働いています。そのためか患者さんから「いつも元気な姿だね」と言われて凄く嬉しいし、仕事の活力になっています。これからも頑張っていきたいと思います。



公益社団法人 茨城県看護協会通常総会並びに職能集会プログラム

日時／平成25年6月22日(土) 9:30～17:00

場所／茨城県立県民文化センター 大ホール 水戸市千波町東久保697

- 9:00 受付開始
- 9:30 開 会
物故会員への黙とう
会長あいさつ
来賓祝辞
来賓紹介
祝電披露
優良看護職員茨城県看護協会会長表彰
- 10:00 開会宣言
議長団選出
議事録署名人の決定
平成24年度総会議事録朗読
- 10:15 審議事項
第1号議案 平成24年度決算報告(案)
並びに監査報告(案)
第2号議案 特例措置について
第3号議案 平成25年度改選役員及び
推薦委員の選任
第4号議案 平成26年度日本看護協会
総会代議員及び予備代議
員の選任
- 11:20 報告事項
報告事項1 平成24年度事業報告
報告事項2 平成25年度重点事業並び
に事業計画
- 13:00 報告事項3 平成25年度収支予算
平成25年度日本看護協会
通常総会代議員報告
次年度選挙管理委員の任命
新役員紹介・推薦委員の紹介
退任役員への謝辞
退任役員代表挨拶
- 閉 会
- 14:00 **職能集会**
「保健師・助産師・看護師の
ネットワーク強化」



- 15:30 **特別講演**
「特定行為に係る看護師の研修制度
の理解を深めよう」
～看護師特定行為・業務試行を実施して～
講師 木澤 晃代
筑波メディカルセンター病院
急性・重症患者看護専門看護師
看護師特定行為・
業務試行対象看護師
- ～看護師特定行為・業務試行を受け
入れた看護管理者の立場から～
講師 山下美智子
筑波メディカルセンター病院
副院長・看護部長
- 17:00 閉 会

◆選挙管理委員会からの改選役員等候補者公示は別刷となっております。また、総会要綱は全会員配布に向けて準備中です。送付は5月下旬から6月上旬を予定しております。もうしばらくお待ちください。

理事会報告 平成25年度

◆第1回理事会 平成25年4月16日(火)

審議事項

- 1 平成25年度通常総会(案)について

報告事項

- 1 平成24年度第2回全国職能委員長会について
- 2 複合型サービス事業所絆について
- 3 認定看護管理者教育機関視察後改善計画結果について

その他

- 1 平成25年度行事日程(案)について

ワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ開催決定

茨城県看護協会では、日本看護協会と協働しワーク・ライフ・バランス（WLB）実現を推進する「看護職のWLB推進ワークショップ」を、平成25年の開催が決定いたしました。

ワークショップはすでに全国的に開催されており、参加施設は各施設とも様々な成果が報告されております。茨城県の今年度は以下の4施設になりました。

目的：茨城県内の医療施設を主体に、看護職のワーク・ライフ・バランスの実現に取り組み、看護職の働き続けられる職場づくりを行います

平成25年度参加施設

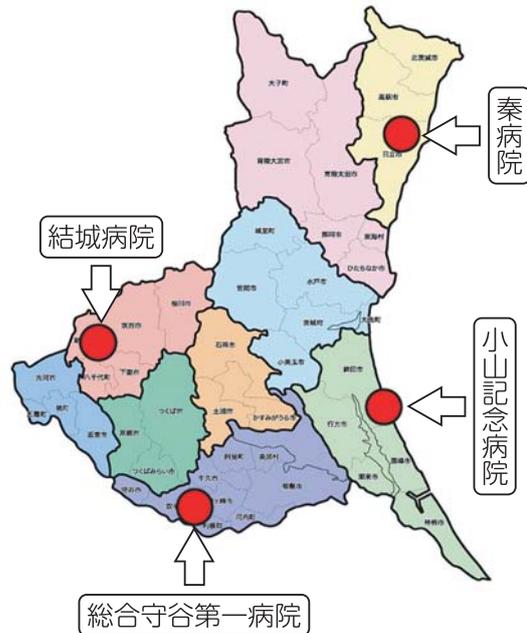
- ・日立地区：特定医療法人 秦病院
- ・筑西・下妻地区：特定医療法人 結城病院
- ・鹿行地区：医療法人 小山記念病院
- ・取手・竜ヶ崎地区：医療法人 総合守谷第一病院

ワークショップ開催日・会場

**** 期 日 ****
平成25年9月26日(木)・27日(金)

2日間

**** 会 場 ****
茨城県看護研修センター 4階大研修室



***** WLB実現のための手順 *****

1. 施設内の推進体制づくり
2. 看護職のインデックス調査結果をもとに現状分析
3. 課題・計画(アクションプラン)の作成
4. WLB施策の実施
5. 評価と改善



<他県でのワークショップ当日の様子>

問合せ先：茨城県看護協会 ☎ 029-221-6900 E-mail k-3955@ina.or.jp

教育研修のお知らせ

下記のとおり日程が決定した研修と、変更になった研修をお知らせします。ご確認ください。

研修番号	研修名	お知らせ内容	
13	責任者研修・基礎教育と新人教育の相互理解	日程決定	10月3日(木)
17	教育担当者フォローアップ	日程決定	平成26年1月10日(金)
23	看護研究	日程変更	2日目：7月18日 → 7月29日(月) 4日目：10月17日 → 10月21日(月)
27	救急看護	日程決定	2日目：9月25日(水) 3日目：10月9日(水)
33	小児看護	日程決定	11月7日(木)
38	実習指導者講習会フォローアップ研修	日程決定	平成26年1月15日(水)
39	退院調整看護師養成講習会	日程決定	2日目：10月1日(火) 3日目：10月11日(金) 4日目：10月28日(月) 5日目：12月10日(火)
40	糖尿病重症化予防(フットケア)	日程決定	2日目：11月18日(月) 3日目：11月19日(火)
41	医療安全管理者養成研修	日程変更	3日目：9月27日 → 9月18日(水)
55	助産師のキャリアパス・クリニカルラダーの 基礎的理解(再掲) ※委員会企画研修に掲載の(再掲)部分の訂正です。	受講料 変更 応募期間変更	会 員 7,000円 → 5,000円 非会員 10,000円 → 7,500円 11/1～11/15 → 11/10～11/30
68	医療危機予知(KYT)の基礎知識	日程変更	9月26日 → 9月17日(火)
69	医療危機予知(KYT)の基礎知識	日程変更	9月26日 → 9月18日(水)

WEBでの研修申込について

- 協会の会員で、個人での申込に限ります。施設毎の申し込みは従来通りの方法です。
- WEBより申込された方の受講料はコンビニでの振込になります。
- 振込手数料は受講者の負担になります。

研修のご案内 → 研修一覧よりご希望の研修名 をクリック！
WEB申込 → 申込をする をクリック！

※画面に従ってご入力ください

確認画面へ → 申込ボタンクリック

★本人に申込確認のメールが届く(★申込確認メールは受講が確定されるものではありません)

各研修申込締め切り後10日前後に受講の可否がメールが届く

受講決定者はメールに記載されているURLにアクセス・パスワードでログイン
コンビニ決済入力フォームから希望のコンビニ決済を選択し、画面に従い確定する

入金方法のメールが届きますので、コンビニの店頭で
「受付番号」もしくは「バーコード」を利用し、入金を行う

編集後記

春の日差しも暖かく感じられる季節となりました。
会員の皆様にとってこの時期は、新人看護師を迎え、お忙しい日々をお過ごしのことと思いま
すが、『看護いばらき』でちょっと気分を変えていただけたら、幸いです。

広報委員会一同